

作業環境測定の方法及び測定結果の評価の指標(評価指標)

番号	物質名	作業環境測定の方法		管理濃度等(※1)	作業環境測定の方法の詳細(参考例)		
		試料採取方法	分析方法		定量下限	捕集法 (器具、流量、 捕集時間)	分析法及び 検出器
1	2-アミノ-4-クロロフェノール	ろ過捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	—			
2	アントラセン	フィルター及び捕集管を組み合わせた相補型のろ過捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法又はガスクロマトグラフ分析方法	—			
3	エチルベンゼン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	20ppm			
4	2,3-エポキシ-1-プロパノール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法又は高速液体クロマトグラフ分析方法	2ppm			
5	塩化アリル	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	1ppm	0.0017ppm	Porpak Q管 50ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ 水素炎イオン検出器 (FID)
6	オルトフェニレンジアミン及びその塩	ろ過捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	オルトフェニレンジアミンとして0.1mg/m ³	3.7 ppb (1.6 x 10 ⁻² mg/m ³)	硫酸含浸ガラス繊維ろ紙	高速液体 クロマトグラフ 紫外吸光度検出器
7	キノリン及びその塩	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	—			
8	1-クロロ-2-ニトロベンゼン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	<構造類似物質の管理濃度> パラ-ニトロクロロベンゼン 0.6mg/m ³	10 ppb (6.4 x 10 ⁻² mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
9	クロロホルム	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	3ppm			
10	酢酸ビニル	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
11	四塩化炭素	液体捕集方法又は固体捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	5ppm			
12	1,4-ジオキサソ	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
13	1,2-ジクロロエタン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
14	1,4-ジクロロ-2-ニトロベンゼン	固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	—			
15	2,4-ジクロロ-1-ニトロベンゼン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	<構造類似物質の管理濃度> パラ-ニトロクロロベンゼン 0.6mg/m ³	1.0 ppb (7.8 x 10 ⁻³ mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
16	1,2-ジクロロプロパン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	1ppm	50 ppb	活性炭管	溶媒脱着 ガスクロマトグラフ Hall型電気伝導度検出器

番号	物質名	作業環境測定の方法		管理濃度等(※1)	作業環境測定の方法の詳細(参考例)		
		試料採取方法	分析方法		定量下限	捕集法 (器具、流量、 捕集時間)	分析法及び 検出器
17	ジクロロメタン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	50ppm			
18	N,N-ジメチルアセトアミド	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
19	ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	0.1mg/m ³			
20	N,N-ジメチルホルムアミド	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
21	スチレン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	20ppm			
22	4-ターシャリーブチルカテコール	フィルター及び捕集管を組み合わせた相補型のろ過捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	<構造類似物質の許容濃度> カテコール 5ppm (ACGIH)	0.00624ppm (採気量:3L のとき)	フィルター付きXAD-7 捕集管(Glass Fiber Filter/XAD-7 100mg/50mg以上)0.2 ~0.5L/分、10分)	メタノール脱着 高速液体クロマト グラフ UV検出器
23	多層カーボンナノチューブ(がんその他の重度の健康障害を労働者に生ずるおそれのあるものとして厚生労働省労働基準局長が定めるものに限る。)	ろ過捕集方法	炭素分析法	—	0.011mg/m ³ (採気量90L)	Sioutas Cascade Impactor 又は導電性 サイクロンサンプラー (分粒特性:4µm 50% カットでの捕集) 石英フィルター;それぞ れのサンプラーについ ては2.75L/min、10分 以上	炭素分析装置
			高速液体クロマトグラフ分析方法	—	0.0072mg/m ³ (採気量 27.5L)	導電性サイクロンサン プラー(分粒特性:4µ m 50%カットでの捕 集) セルロースエステルメ ンブラン フィルター; 吸引流量 2.75L/min、10分以 上	高速液体クロマト グラフ 蛍光検出器
24	1,1,2,2-テトラクロロエタン	液体捕集方法又は固体捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	1ppm			
25	テトラクロロエチレン	固体捕集方法又は直接捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	50ppm(※2)			
26	1,1,1-トリクロロエタン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	200ppm			
27	トリクロロエチレン	液体捕集方法、固体捕集方法又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集方法にあつては、ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			
28	ノルマル-2,3-エポキシプロピルエーテル	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	3ppm	4.3 ppb	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
29	パラ-ジクロロベンゼン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	10ppm			

番号	物質名	作業環境測定の方法		管理濃度等(※1)	作業環境測定の方法の詳細(参考例)		
		試料採取方法	分析方法		定量下限	捕集法 (器具、流量、 捕集時間)	分析法及び 検出器
30	パラニトロアニ ソール	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	<構造類似物質の許容濃度 > パラアニジジン 0.5mg/m ³ (日本産業衛生学会、 ACGIH) ジニトロトルエン(混合物) 0.2mg/m ³ (ACGIH)	4.3 ppb (2.7 x 10 ⁻² mg/m ³)	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
31	パラニトロクロ ルベンゼン	液体捕集方法又は固体捕集方 法	1 液体捕集方法にあつては、 吸光光度分析方法又はガスク ロマトグラフ分析方法 2 固体捕集方法にあつては、 ガスクロマトグラフ分析方法	0.6mg/m ³			
32	ヒドラジン及びそ の塩、ヒドラジン 一水和物	固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	ヒドラジンとして 0.13mg/m ³			
33	ビフェニル	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	0.2ppm			
34	2-ブテナール	固体捕集方法	高速液体クロマトグラフ分析方法	0.2ppm			
35	1-ブromo-3- クロロプロパン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ分析方法	<構造類似物質の管理濃度 > 1, 2-ジクロロエタン10ppm	0.5 ppb	Tenax管 200ml/分 10分	加熱脱着 ガスクロマトグラフ FID
36	1-ブromoタン	固体捕集方法	ガスクロマトグラフ質量分析方法	—			
37	メタクリル酸2, 3 -エポキシプロピ ル						
38	メチルイソブチル ケトン	液体捕集方法、固体捕集方法 又は直接捕集方法	1 液体捕集方法にあつては、 吸光光度分析方法 2 固体捕集方法又は直接捕集 方法にあつては、ガスクロマト グラフ分析方法	20ppm			

※1 作業環境評価基準(昭和63年労働省告示第79号)の別表に掲げる管理濃度と「労働安全衛生法第28条第3項の規定に基づき厚生労働大臣が定める化学物質による健康障害を防止するための指針」に基づき作業環境測定の結果を評価するために使用する評価指標

※2 テトラクロロエチレンの管理濃度については、平成28年10月1日から50ppmから25ppmに改める改正が適用される。